

農薬は毒なのか



ちょっと、**毒性試験**という言葉が気になるわね。

安全性確認のための各種試験

- 病気・害虫の効果試験
- 薬害に関する試験
- 残留性に関する試験

● **毒性試験**



A!

農薬の**毒性**には、大きく分けて「急性毒性」と「慢性毒性」の2つがあります。

農薬の1回投与によって生じる(口、皮膚、呼吸器などから)

急性毒性

急性毒性は、主に農家の人に対する危険性を示します。



農薬散布のときにはしっかりと「急性毒性」から体を守らなければならないんだよ。



この毒性の強さは「半数致死量(LD50)」で表します。

「無毒性量」を基に「ADI」(21頁参照)が設定されます。

慢性毒性

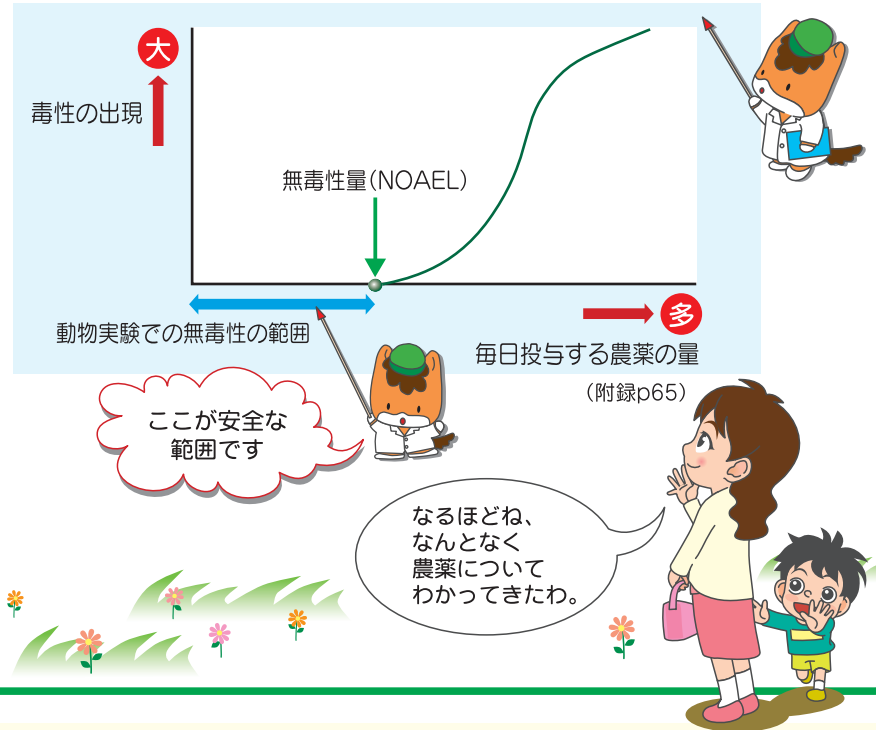
農産物に残留した農薬による毒性などが慢性毒性に該当します。

農薬を長期間にわたり繰り返し投与することによって生じる

私たちの健康に対する危険というのは、農薬の毒性の強さと、その摂取量が問題となります。



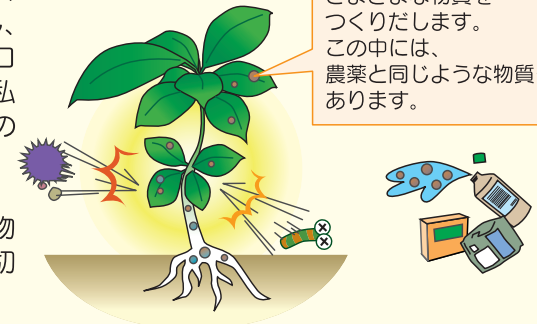
動物実験によって、**無毒性量**が求められます。



ワンポイント ● **天然物にも毒がある**

天然物に含まれる物質には、発ガン性物質もありますし、抗ガン作用やコレステロールを下げる作用など、私たちの健康に役立つものもたくさんあります。

天然物に含まれる有害物質をよく知ることが大切です。



植物は、自分を守るために、さまざまな物質をつくりだします。この中には、農薬と同じような物質もあります。

用語解説

- 毒性……化学物質などが有する生態に有害な影響を与える性質のことです。
- LD50……ある動物の一定数に農薬を投与して、その50%が致死する農薬量その動物の体重1kgあたりに換算したものです。(p66を参照)
- 無毒性量……毒性を発現しない最大量のことです。
- ADI……一日摂取許容量(p21を参照)